

事業報告

(2017年4月1日から2018年3月31日まで)

【事業概要】

〔財団設立経緯等〕

株式会社ニトリホールディングスは、「住まいの豊かさを世界の人々に提供する」というロマン(志)のもと、商品の提供など事業活動の多くをアジア諸国に支えられてきました。「お世話になったアジア諸国に恩返しをしたい」という思い、「アジア諸国の若者たちの勉強上の夢が叶うことを願い」から、2005年3月、本財団代表理事似鳥昭雄(株式会社ニトリホールディングス代表取締役会長)の私財寄附により、似鳥国際奨学財団が設立されました。

アジア諸国からの留学生のうち、志操堅実、学力優秀でありながら、経済的理由により学業の継続が困難な者に対して「奨学援助」を無償で行い、もって、諸国の友好親善と人材の育成を目的としておりました。その後内閣府へ公益財団への移行申請を行ない、2009年10月1日には、公益財団法人となりました。移行後は、対象範囲をアジア諸国から世界各国へ広げ、現在は日本国内事業として、アジアのみならず世界各国から日本に留学している学生、日本人大学生、日本人高校生(大学入学前予約型奨学金)に奨学援助を行っています。そして、海外に関しましては、台湾・ベトナム・アメリカ・中国に海外現地奨学金事業も行っております。今後ともさらに充実した活動を行い、微力ながら世界各国の人材育成に力を尽くしたいと存じます。

以下、公益財団法人としての14年目の当年度事業の実施状況をご報告申し上げます。

I. 事業の状況

1. 奨学金支給事業

【外国人留学生部門】

(1)2017年度外国人留学生採用人数 計76名

奨学生の内訳は以下の通りになります。

出身 8ヶ国・地域

国籍	集計	構成比
中国	50	66%
韓国	12	16%
ベトナム	5	7%
台湾	4	5%
モンゴル	2	3%
インドネシア	1	1%
フランス	1	1%
マレーシア	1	1%
合計	76	100%

性別

性別	集計	構成比
女性	45	60%
男性	31	40%
合計	76	100%

学年

在籍学年	集計	構成比
学部2年	7	9%
学部3年	4	5%
学部4年	15	20%
修士1年	9	12%
修士2年	41	54%
合計	76	100%

大学 32ヶ校

在籍大学	集計	構成比
東京大学	11	14%
早稲田大学	11	14%
京都大学	5	7%
大阪大学	5	7%
慶応義塾大学	4	5%
筑波大学	4	5%
同志社大学	3	4%
一橋大学	2	3%
神戸大学	2	3%
明治大学	2	3%
法政大学	2	3%
滋賀大学	2	3%
名古屋大学	2	3%
立命館大学	2	3%
電気通信大学	2	3%
横浜国立大学	1	1%
青山学院大学	1	1%
お茶の水女子大学	1	1%
東京外国語大学	1	1%
上智大学	1	1%
北海道大学	1	1%
東北大学	1	1%
九州大学	1	1%
学習院大学	1	1%
京都府立大学	1	1%
名古屋市立大学	1	1%
高崎経済大学	1	1%
茨城大学	1	1%
新潟大学	1	1%
信州大学	1	1%
長岡技術科学大学	1	1%
城西国際大学	1	1%
合計	76	100%

【日本人大学生部門】

2017年度日本人大学生採用人数 計20名
奨学生の内訳は以下の通りになります。

性別

性別	集計	構成比
女性	11	55%
男性	9	45%
合計	20	100%

学年

在籍学年	集計	構成比
学部1年	6	30%
学部2年	3	15%
学部3年	6	30%
学部4年	5	25%
合計	20	100%

大学 15校

在籍大学	集計	構成比
東京大学	3	15%
早稲田大学	3	15%
京都大学	2	10%
国際教養大学	1	5%
東京工業大学	1	5%
お茶の水女子大学	1	5%
上智大学	1	5%
明治大学	1	5%
九州大学	1	5%
中央大学	1	5%
津田塾大学	1	5%
関西学院大学	1	5%
横浜市立大学	1	5%
滋賀大学	1	5%
日本大学	1	5%
合計	20	100%

【高校3年生対象大学入学前予約型奨学金部門】

2017年度高校3年生対象大学入学前予約型奨学金採用人数 計11名
奨学生の内訳は以下の通りになります。

性別

性別	集計	構成比
女性	5	45%
男性	6	55%
合計	11	100%

出身高校 9校

在籍学年	集計	構成比
早稲田大学高等学院	3	27%
宮城県仙台二華高校	2	18%
渋谷教育学園幕張高校	1	9%
青森県立八戸高校	1	9%
早稲田実業学校高等部	1	9%
大阪府立北野高校	1	9%
徳島文理高校	1	9%
福岡県立修猷館高校	1	9%
合計	11	100%

入学大学 5校

在籍大学	集計	構成比
早稲田大学	5	45%
東京大学	2	18%
京都大学	2	18%
慶應義塾大学	1	9%
明治大学	1	9%
合計	11	100%

(2)奨学生の退会

本期間、奨学生途中退会は以下の通りになります。
7名(秋卒業)

(3)奨学金の支給

本期間、以下のように奨学金を支給いたしました。
月額11万円(外国人留学生対象):76名
月額8万円(日本人自宅外生) :22名
月額5万円(日本人自宅生) :9名
(奨学金総額 124,362,000円)

(4)住宅費補助金の支給

本期間、上記奨学生のうち13名に対し、1人月額4万円の住宅費補助金を支給致しました。
(住宅補助金合計 6,200,000円)

(5)次年度(2018年度)奨学生の選考及び結果

2018年2月5日開催の奨学生選考委員会にて以下のように計143名を2018年度奨学生として採用を決定致しました。
外国人留学生奨学金対象者:79名
日本人大学生奨学金対象者:42名
高校3年生大学入学前予約型奨学金対象者:22名

【海外奨学金部門】

(1)2017年度奨学生の奨学金支給

計282名の海外奨学生へ奨学金を支給致します。
奨学金合計 47,826,439円
内訳は以下の通りになります。

台湾

大学名	人数(名)	一人当たり年額(元)	合計支給額(元)
台湾大学	30	100,000	3,000,000
淡江大学	8	100,000	800,000
東海大学	7	100,000	700,000
台北科技大学	3	100,000	300,000
計	48		4,800,000

ベトナム

大学名	人数(名)	一人当たり年額(ドン)	合計支給額(ドン)
ハノイ大学	10	1,300万	13,000万
貿易大学	10	1,300万	13,000万
国民経済大学	10	1,300万	13,000万
ハノイ工科大学	25	1,300万	32,500万
ハノイ産業大学	25	1,300万	32,500万
ハノイ工業美術大学	10	1,300万	13,000万
ハノイ公開大学	10	1,300万	13,000万
計	100		130,000万

中国

大学名	人数(名)	一人当たり年額(元)	合計支給額(元)
北京大学	10	10,000	100,000
中国人民大学	5	10,000	50,000
北京師範大学	10	10,000	100,000
南開大学	10	10,000	100,000
天津大学	10	10,000	100,000
西安交通大学	4	10,000	40,000
重慶大学	4	10,000	40,000
四川大学	4	10,000	40,000
西南交通大学	4	10,000	40,000
中南大学	4	10,000	40,000
湖南大学	4	10,000	40,000
武漢大学	10	10,000	100,000
華中師範大学	10	10,000	100,000
南京大学	10	10,000	100,000
東南大学	10	10,000	100,000
浙江大学	5	10,000	50,000
同済大学	10	10,000	100,000
華東師範大学	10	10,000	100,000
計	134		1,340,000

2. 交流事業

本期間、交流事業として以下の事業を実施致しました。

4月2日

2017年度 入団式・兼 2016年度 卒団式

42名の卒団生の皆さんの輝ける未来を祝福する卒団式と
87名の新入団生の皆さんの入団式を行いました。

継続生、OB/OGの方々も参加され、式に続き交流会も同時開催されました。



式典(代表理事講話)



式典(成功の五原則)



式典の様子



入団証書授与式



OB・OGスピーチ



集合写真



余興(インドネシア踊り)



余興(変面)



懇親会

5月14日～23日

第4回 アメリカセミナー開催

2017年度の財団生の中から28名が、アメリカ(ロサンゼルス)セミナーに参加されました。
全てのカリキュラムをニトリグループ社員とともに受講しました。
成果発表もニトリ社員の前で行いました。



講義の様子



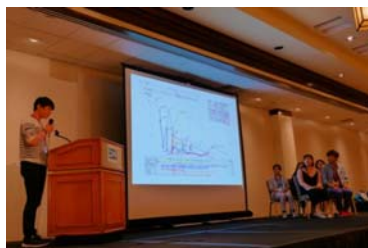
集合写真(視察)



課題討論



ファッションコンクール



成果発表



自由視察(市内観光)

8月26日～27日

2017年度 財団交流会を開催（北海道の旅）

財団の2017年度秋交流会が北海道で開催され、9カ国・地域出身の奨学生、計107名が参加されました。参加者は1泊2日をかけて、札幌大倉山展望台散策、白い恋人パーク散策、野外バーベキュー（ジンギスカン）、ニトリ石狩花火大会観賞、ニトリレディス（ゴルフ）観戦、小樽貴賓館（旧青山別邸）見学、おたる水族館見学、小樽芸術村見学、小樽散策・小樽運河クルーズ散策など、大変充実な北海道旅行ができました。



ジンギスカン集合写真



集合写真



ニトリレディス（ゴルフ）観戦



ニトリ石狩花火大会観賞



札幌大倉山展望台散策



小樽芸術村見学

11月25日～26日

2017年度 財団生就職活動サポートインターンシップ合宿

財団生の就職活動サポートの為、ニトリ保養所軽井沢にて1泊2日間の合宿インターンシップを開催致しました。財団生23名がご参加され、実際に商品開発の仕事を持ち寄り、班討論などを通じ、成果発表まで行いました。ニトリ人材採用部のご協力で、皆さんは大変満足した2日間を過ごせました。



班討論



商品発表会



ニトリ保養所軽井沢前

1月13日～14日

2018年 OB/OG兼現役生新年会

財団初のOB/OG兼現役生の新年会をニトリ熱海研修センターにて開催致しました。OB/OG87名、現役生39名、計126名の財団生が参加されました。財団1期生～14期生の皆さんが集まり、会場は大いに盛り上がりました。翌日は、梅園、MOA美術館、みかん狩り、花火を鑑賞し、大変充実した新年会でした。



久しぶりの再会



懇親会の様子



カラオケ



大盛り上がりの抽選会



熱海梅園鑑賞



MOA美術館見学

3月31日

2018年度 入団式・兼 2017年度 卒団式

40名の卒団生の皆さんの輝ける未来を祝福する卒団式と143名の新入団生の皆さんの入団式を行いました。継続生、OBOGの方々も参加され、式に続き交流会も同時開催されました。



式典の様子



入団証書授与



財団生研究スピーチ



歓談



懇親会



余興



サプライズ
代表理事への感謝を伝える



集合写真

その他:

『似鳥国際奨学財団新聞』発行

2017年度も財団活動の紹介とアピールのツールとして財団新聞を発行しました。財団の行事をテーマに活動の様子の紹介と関連情報を掲載し、現役生、OB/OGへも配布し、さらに宣伝用で全国の高校、大学へも配布実施しました。

『SNS』を通じた財団広報活動

facebookに続き、Wechat、Lineなど、SNSを利用し、財団広報を行いました。奨学生及びOB/OGの方々との交流を深めること、財団活動を世界に発信することを目的とし、財団のイベント予告、イベント報告、募集ニュース発信などを積極的に行いました。OB/OG・現役生さらに中国現地奨学金の学校先生との繋がりもSNSを通じて実現できました。



財団新聞3号



財団新聞4号



財団新聞5号



Wechat



Line



Facebook

ニトリ公式ツイッターにて
財団活動配信



II. 処務の概要

1. 役員に関する事項

(1)2018年3月31日時点の役員

2018年3月31日時点の本財団役員は以下の通りになります。

役職	氏名	職名
代表理事 理事	似鳥 昭雄	(株)ニトリホールディングス代表取締役会長
	亀井 淳	(株)トヨーカ堂 顧問
	吉村 作治	東日本国際大学 教授・学長 早稲田大学 名誉教授
監事	中村 元彦	公認会計士
評議員	似鳥 靖季	ニトリ中国販売(NCH) 出向
	杉田 亮毅	公益社団法人日本経済研究センター 特別顧問 兼 株式会社日本経済新聞社 顧問
	長瀬 透	(株)ニトリホールディングス顧問

2. 会議に関する事項

(1)理事会

2017年 6月9日	第1回理事会	書面
2017年 6月28日	第2回理事会	東京
2018年 3月14日	第3回理事会	東京

(2)評議員会

2017年 6月28日	第1回評議員会	東京
-------------	---------	----

(3)奨学生選考委員会

2018年 2月5日	2016年度奨学生選考委員会 外国人留学生・日本人大学生 高校3年生(入学前予約型) 同時開催	東京
------------	--	----

事業報告の附属明細書

*2017年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規程する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成を省略する。